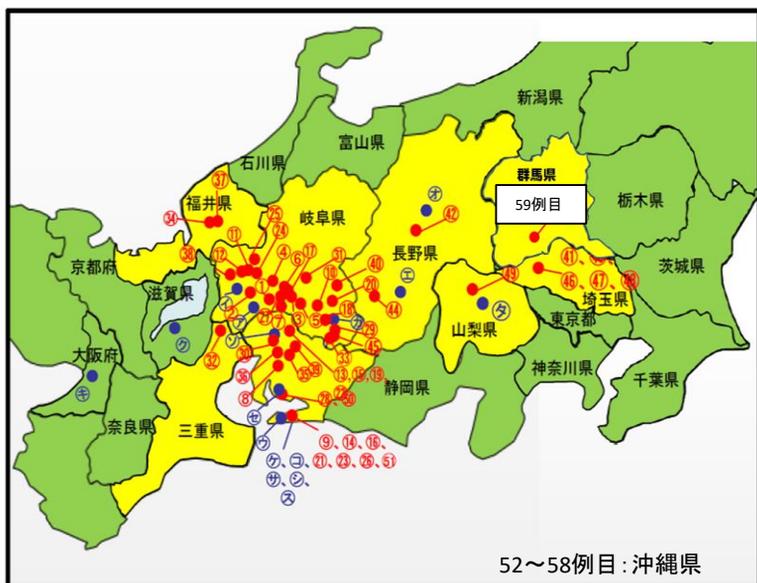


群馬県の養豚場でCSF(豚熱)が発生！(国内59例目)

9月26日、群馬県高崎市の養豚場においてCSF(豚熱)の患畜が確認されました。当農場は、既にワクチン接種をしている農場で、群馬県では初めての発生ですが、ワクチン接種農場での発生は愛知県での2事例に続く3事例目となります。

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策を確実に実施してください。



【59例目の概要】

- ◆発生農場
群馬県高崎市 5,390頭飼養
- ◆経過
 - ・9月上旬から下痢や死亡豚が見られる
 - ・9月25日、群馬県が立入。
 - ・9月26日、国による精密検査で本病の患畜と判明。

CSF発生県：埼玉、群馬、山梨、長野、岐阜、愛知、福井、三重、沖縄
 関連農場発生県：大阪、滋賀

- ▶ 毎日の健康観察と異常家畜（耳・下腹部・四肢の紫斑、結膜炎、複数頭の40℃以上の発熱、便秘又は下痢、食欲不振など）の早期発見・早期通報をお願いします。
- ▶ 豚熱の発生を防止するためには、人や物を始め野生動物などによって飼育環境にウイルスが持ち込まれないことが重要です。

- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒の徹底
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴の着用
- ☑ いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料の加熱給与
 （攪拌しながら90℃以上で60分間以上、又は95℃で19分間以上、100℃で6分間以上）

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(休日・夜間は転送されます。)
 FAX:0774-52-2030